相対度数と 確率 ドリル③

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

中1／正しいか 判定 10問／目標 12分

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

・それぞれの 考えが 正しいか、記号を ○ で かこむ。
・確率の 見積もりは「およそ」の 値で ある ことを もとに 考える。

① 確率の 見積もりが 0.4 なら、100回 投げると 必ず 40回 起こる。

ア 正しい　イ 正しくない

② 多数回の 実験の 相対度数を、確率の 見積もりに 使う。

ア 正しい　イ 正しくない

③ 確率の 見積もりが 0.4 なら、1000回 投げると およそ 400回 起こる と 考えられる。

ア 正しい　イ 正しくない

④ コインを 5回 続けて 投げて 裏が 出た。次は 表が 出やすい。

ア 正しい　イ 正しくない

⑤ キャップの 表と 裏は 2通り だから、表の 確率は 0.5 で ある。

ア 正しい　イ 正しくない

⑥ 相対度数は、0 以上 1 以下の 値に なる。

ア 正しい　イ 正しくない

⑦ 10回中 7回 表 だった。この 相対度数 0.7 を そのまま 確率と 決めて よい。

ア 正しい　イ 正しくない

⑧ 表の 相対度数と 裏の 相対度数を たすと 1。

ア 正しい　イ 正しくない

⑨ 投げる 回数が 多い 実験ほど、確率の 見積もりと して 信用 できる。

ア 正しい　イ 正しくない

⑩ 画びょうの 形が 変わっても、上向きの 確率の 見積もりは 同じ。

ア 正しい　イ 正しくない

見直し　□ 選ぶ 問題は 記号を ○ で かこんだ

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「データの活用」のプリント一覧がひらきます

相対度数と 確率 ドリル③【こたえ】

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

中1／正しいか 判定 10問／目標 12分

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

・それぞれの 考えが 正しいか、記号を ○ で かこむ。
・確率の 見積もりは「およそ」の 値で ある ことを もとに 考える。

① 確率の 見積もりが 0.4 なら、100回 投げると 必ず 40回 起こる。

ア 正しい　イ 正しくない

およそ 40回。ちょうど とは かぎらない

② 多数回の 実験の 相対度数を、確率の 見積もりに 使う。

ア 正しい　イ 正しくない

回数を 多く すると 相対度数が 安定する

③ 確率の 見積もりが 0.4 なら、1000回 投げると およそ 400回 起こる と 考えられる。

ア 正しい　イ 正しくない

1000 × 0.4 ＝ 400（およそ）

④ コインを 5回 続けて 投げて 裏が 出た。次は 表が 出やすい。

ア 正しい　イ 正しくない

前の 結果に 左右されない

⑤ キャップの 表と 裏は 2通り だから、表の 確率は 0.5 で ある。

ア 正しい　イ 正しくない

起こりやすさが 同じとは かぎらない。実験で 見積もる

⑥ 相対度数は、0 以上 1 以下の 値に なる。

ア 正しい　イ 正しくない

起こった 回数は 0回～投げた 回数

⑦ 10回中 7回 表 だった。この 相対度数 0.7 を そのまま 確率と 決めて よい。

ア 正しい　イ 正しくない

回数が 少なく ばらつく

⑧ 表の 相対度数と 裏の 相対度数を たすと 1。

ア 正しい　イ 正しくない

表+裏 ＝ 投げた 回数 だから

⑨ 投げる 回数が 多い 実験ほど、確率の 見積もりと して 信用 できる。

ア 正しい　イ 正しくない

回数が 多いほど 相対度数の ばらつきが 小さい

⑩ 画びょうの 形が 変わっても、上向きの 確率の 見積もりは 同じ。

ア 正しい　イ 正しくない

形が 変われば 起こりやすさも 変わる。実験し直す

丸つけ 記号で 見る。正しくない ものは、どこが ちがうか 言えると なお よい。
声かけ「必ず？ およそ？」「前の 結果で 変わる？」「回数は 多い？」

いちごドリル プリント